

自賠責保険（共済）見直しの 署名活動にご協力お願いします

特定非営利活動法人サン・クラブとは

【正式発足】平成 18 年 9 月

【目 的】知られざる病「脳脊髄液減少症」の患者の権利を守り、
患者と家族の救済を考える会

【活 動】患者の実態調査及び追跡調査
各地での医療講演会

- 実態調査の中から、原因は交通事故の方がもっとも多く、「加害者天国・被害者地獄」の実態が報告されています。
- 加害者に関しては、その日からでも今までと変わらない生活がありますが、被害者になると、人生はその時から急に変わってしまいます。

軽微な事故として処理をされ、この症状を理解して治療してくれる病院にたどり着くまでに平均 2 年半もの時間がかかっています。（第 1 回追跡調査より）

（自賠責保険の時効成立は、2 年です）

事故との因果関係を証明するのも全て、被害者です。

その為に、交通事故の治療費の不払い等も起こっています。

「脳脊髄液減少症」は、未だに健康保険の適用も無く、自費診療となり高額な治療費が必要です。それを被害者が捻出しなければなりません。

自賠責保険は、30 年も治療費等に関しての額は変更されていません。

30 年前の医療費と現在の医療費が変わっていないことはありません。

後遺症に対しても、脳が下がるという記述はありません。

神経障害に対しても、殆ど認められていない実態があります。

国は、自賠責保険に関して妥当と認めているようですが、現実とは全く違っています。

交通事故に遭ったその日から、医療費や休業補償に対しても、支払いを受けていない方が多い事も事実です。

車社会の中で、交通事故に遭わないという補償はありません。

いつ誰かが交通事故に遭い、被害者地獄の絵巻物の中に身を置く事になるかもしれません。そうならない為にも、自賠責保険に関する見直しをお願いし、損保の不払いの実態も明らかにして欲しいと思います。

